

すこしの工夫で驚くほど快適に!

くらしの整理収納術

Before



サイズや大きさの異なる収納グッズや紙袋などを、スペースを見つけて収めている状態。

こんな風に片づけたい!

- ・キッチン部分の片付けに感動したので、全部おまかせでお願いしたい!
- ・予算は1万円以内

読者の要望を確認

奥行の有効活用がカギ
収納場所も全一任

押し入れは奥行きが深く、その有効活用がカギを握る。今回は天袋を除く押し入れ全体を整理する。大満足のキッチンの片付けを経て、収納アイテムの種類やサイズ、収納物の再配置も全て佐藤江理子さんのセンスに一任された。

今月のポイント!

- ・使い回しの効く収納アイテムを選べば、引っ越しなどで環境が変わっても再利用できる。
- ・収納アイテムの色合いや種類、サイズをそろえると統一感が生まれる。

〈実践編〉アパートの押し入れ①

収納スペースが限られたアパートの押し入れを片付ける1回目。2019年10～12月号のキッチンに続き、同じ家の押し入れも整理。収納アイテムも白基調で明るくまとめた。

しまっていたモノを把握

全て広げて現状を把握
ジャンル、使用頻度で再配置

押し入れに入っているものを全て出して広げ、どんなものを持っていたのか現状をしっかりと把握する。食品のストックや洗剤などのジャンルや使用頻度を考慮し、押し入れ内の配置を検討する。



収納アイテムの購入

サイズに合わせた収納グッズで
押し入れ内をキレイに区分け

押し入れ内を用途別に区分するための収納グッズを購入。サイズに合わせた木製とプラスチック製のボックス計6個、キャスター2セット、自立するナイロン製の袋4枚をいづれも白基調でそろえた。購入金額は5,736円と予算1万円を大きく下回った。

次号では、押し入れ内をキレイ、便利に再配置

教えてくれたのは…
整理収納アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。

